



第35期 令和3年度 安全衛生 基本方針

今年度も「安全は全てに優先する」を最重要課題とし、「災害ゼロ」を目標達成に向け基本ルールの遵守とリスクアセスメント活動の徹底、全ての現場から不安全状態や不安全行動の排除に取り組み危険ゼロを目指し事故の未然防止に繋げ、安全・安心・安定を更に構築し顧客からの信用を積み上げ魅力ある明るい職場環境を創る。

衛生面については、引続き一人一人が感染症予防に取り組み会社は健康推進施策を通じてそれを支援する。また、健康障害を防止するため、産業医による面接指導を行い必要に応じて、本人への指導及び所属長へ就業上の措置を要請する。

スローガン

『基本ルール遵守で、無事故・無災害』



第35期安全重点目標

1. 車両事故の防止

- ・飲酒運転撲滅
- ・始業前点検の実施
- ・交通ルールとマナーの遵守
- ・誘導員の適正配置、誘導(車両後退時)
- ・防衛運転の励行
- ・輪止の実施
- ・運転時のスマホ・カーナビ使用禁止
- ・運転者の健康確認(現場出発前・作業時)
(車両点検簿に、健康チェック項目を追加し、セルフチェック実施)

2. 墜落転落事故の防止

- ・墜落抑止用器具の使用(フルハーネス)
完全施工日、2022(1月2日)
- ・無洞網状態の撲滅
- ・高所作業車の優先使用
- ・安全装備・設備の始業前点検の実施
- ・昇降時・作業時には2点以上の支持
- ・開口部の転落防止柵の設置
- ・脚立の適正使用(各現場のルール遵守)
- ・墜落防止装置の完全使用

3. 設備事故の防止

- ・各課元請ルールの遵守。
- ・作業前後のミーティング徹底(作業前危険箇所の相互確認)
- ・作業前養生の実施、養生確認者の配置
(充電部・現用設備)
- ・誤切断・誤接続防止(相互確認を行う)
- ・有資格者及び作業監視人の配置
- ・事前調査の実施(図面照合確認)
元請け工事担当者と施工に関する十分な打合せをします
- ・既設埋設物を確認する場合、所定の深さまで手掘りを実施し、埋設物が確認できない場合は、元請けに連絡し指示を仰ぎます。
- ・掘削時埋設物の確認(刃先確認者の配置と磁器探査の使用)

4. ヒューマンエラーの撲滅

- ・「不安時」、「不明時」、「異常時」は作業を一時中断し責任者への連絡と確認を遵守する。
- ・作業手順、工法教育訓練の実施
- ・作業手順、工法の再確認
- ・指差呼称の徹底
- ・作業前及び終業ミーティング徹底
- ・ダブルチェックの実施・確認

5. 作業環境の整備

- ・幹部パトロール及び合同パトロールの強化
- ・作業場、倉庫内の整理整頓
- ・安全器具(ヘルメット、墜落抑止用器具)の点検、整備
- ・使用工具の点検、整備、記録の実施
- ・屋内作業及び夜間作業での照度の確保
- ・地下作業での検知、連続換気の実施
- ・熱中症対策・防寒対策
- ・フルハーネス導入・使用

6. 心身両面の健康保持

- ・作業員の健康状態確認(作業前ミーティング時)
- ・定期健康診断の完全実施
- ・感染症予防の実施(出勤時の体温測定・管理)
- ・ストレスチェックの実施
- ・インフルエンザ予防接種の支援
- ・感染症対策備品の常備(マスク、消毒用アルコール、その他)

7. 感電事故の防止

- ・絶縁用保護具の着用
- ・検電の完全実施
- ・強電部(充電部)との離隔確保及び養生の実施
- ・絶縁用保護具の定期点検の実施
- ・特殊車両の車体接地
- ・昇柱防止器の取付(トランス下部)

第35期 月間安全目標

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2021 4月 | 作業環境の整備 | 10月 | 心身両面の健康保持 |
| 5月 | 車両事故の防止 | 11月 | 墜落転落事故の防止 |
| 6月 | ヒューマンエラーの撲滅 | 12月 | 設備事故の防止 |
| 7月 | 作業環境の整備 | 2022 1月 | 設備事故の防止 |
| 8月 | 感電事故の防止 | 2月 | 墜落転落事故の防止 |
| 9月 | 設備事故の防止 | 3月 | ヒューマンエラーの撲滅 |